

蜂須賀家の名宝Ⅰ

— 徳島藩ゆかりの美術工芸 —

徳島博物館は令和四年（二〇二二）一〇月に開館三〇周年を迎えます。当館は開館以来、徳島藩や藩主蜂須賀家に関する資料を収集・展示し、市民や来館者の皆様に親しまれてまいりました。

今回の夏の企画展は、開館三〇周年記念展の第一弾となります。阿波・淡路二十五万七千石を治めた大名蜂須賀家では、膨大な数の美術工芸品、いわゆる大名道具が収蔵されてきました。しかし近代になると伝来品の多くは蜂須賀家の手を離れ、散逸してしまいます。そんな中、当館が収蔵に努めてきた蜂須賀家旧蔵品の数々は、華々しい近世の大名文化の一端を今に伝える貴重な資料といえるでしょう。

本展では徳島県指定文化財の「鳴門十二勝真景図巻」や「熊笹蒔絵鞍轡」、徳島市指定文化財である「花鳥十二ヶ月図小柄」をはじめとする蜂須賀家ゆかりの名品を展示するほか、開館以来はじめて「柳橋水車図屏風」の裏絵を公開いたします。当館所蔵の美術工芸資料を中心に、大名蜂須賀家にまつわる名品を御覧いただきながら、徳島ゆかりの歴史・文化について理解を深めていただければ幸いです。

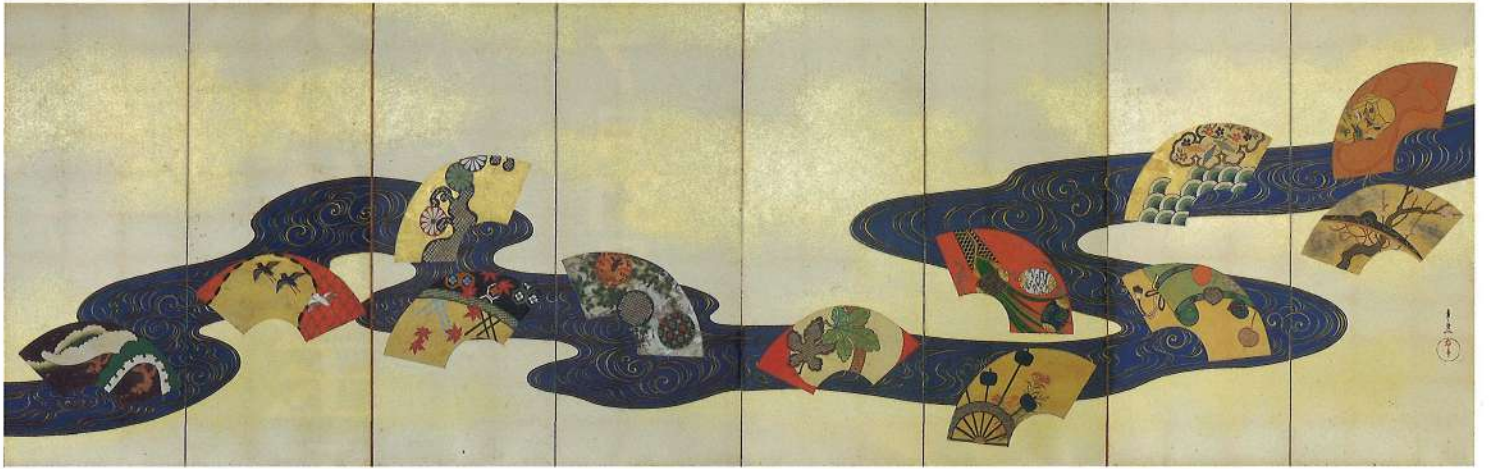
売立目録の世界



和歌詠草 烏丸光広筆



徳島市指定文化財 花鳥十二ヶ月図小柄(6月 常夏・鶉) 堀江興成作



扇面流貼付屏風 鈴木其一筆



色絵柘榴綬帯鳥図甲鉢(東條英機氏寄贈)

蜂須賀家ゆかりの工芸品



徳島市指定文化財 養性軒十六詩画卷 七條寿庵作・赤井得水書・佐々木信照画

御用絵師の精華



虞美人・花鳥図 蜂須賀載筆

下賜された宝物



浅葱紹地子犬世模様産着

華麗なる装い